

東京や大阪のベンチャー企業が次々とサテライトオフィスを開設し、若者の移住者が増え、おしゃれなお店もオープンする四国の右下にある小さな町。今、美波町が地方創生の先進地として全国からの熱い視線を集めていることをご存じですか？この動きをさらに広げるために定められたのが、「美波ふるさと創造戦略」。

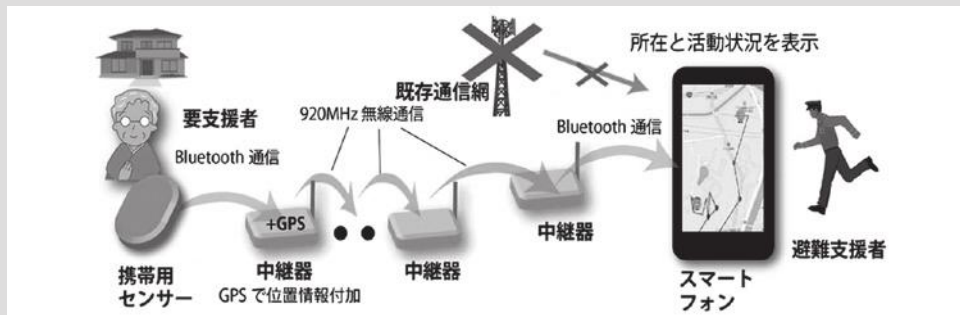
「美波 地方創生だより」では、「それ何？」「どうして？どうやって？」「今どうなってるの？」を追いかけ、毎月お届けしています。

サテライトオフィス企業の技術を用いた防災対策がスタートします

美波町では総務省の「平成28年度 IoTサービス創出支援事業」の採択をうけ、IoTや無線ネットワークなどの最新技術を活用した減災対策に取り組むこととなりました。

この総務省事業は他地域への広域展開が期待できる取り組みに対して認定されるものです。

大規模災害発生時には対象者に配布したIoTセンサーが発する情報を、複数箇所に設置した受信機や個人の持つスマートフォンを活用したネットワーク網が受信・送達することで、電話やインターネットが使えなくなった状況下でも被災者の居場所や状況をリアルタイムに把握し、迅速な救助活動に繋げることができます。また、平常時には希望のあった要支援者等の見守りにも活用できるものです。



この取り組みの中核となるのは、美波町のサテライトオフィス企業Skeed社の技術です。このように、サテライトオフィスとして進出した企業の有する技術や技能を地域が抱える課題解決に繋げる取り組みがスタートしています。

過疎化や高齢化の進む地域では、災害発生時の人手不足が大きな課題。省力化にも寄与するこうした技術を上手く活用することで、町の安全性向上に繋がられるよう、町民の皆様のご理解と協力をお願いいたします。

注目されています！ 美波町の地方創生！

■ 最近のメディア掲載情報をお知らせします。

[新聞] 徳島新聞2017年5月6日「子ガメ体重当て真剣 美波」

徳島新聞2017年5月15日「美波・由岐湾内地区の住民 津波時 阿南の避難所へ」

徳島新聞2017年5月16日「県内SO新たに6社 外資系が初進出(スペースタイムエンジニアリング)」

徳島新聞2017年5月27日「SO誘致へ業務提携 美波のあわせ・ヒトカラメディア」

徳島新聞2017年5月27日「移住者に仕事場提供 美波の小林さんレンタルオフィス開設」

徳島新聞2017年5月31日「ごみゼロの日 協力し郷土きれいに(大浜海岸)」

■ 住宅やオフィスとして利用できそうな物件について、下記まで情報提供をお願いいたします。

役場総務企画課 ☎77-3611

■ デュアルスクール制度を用いたお孫さんの里帰り、お問い合わせ下さい。

株式会社あわせ内デュアルスクール事務局 ☎70-5831